

# 令和7年度 各機関の取組状況について

# ■ 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

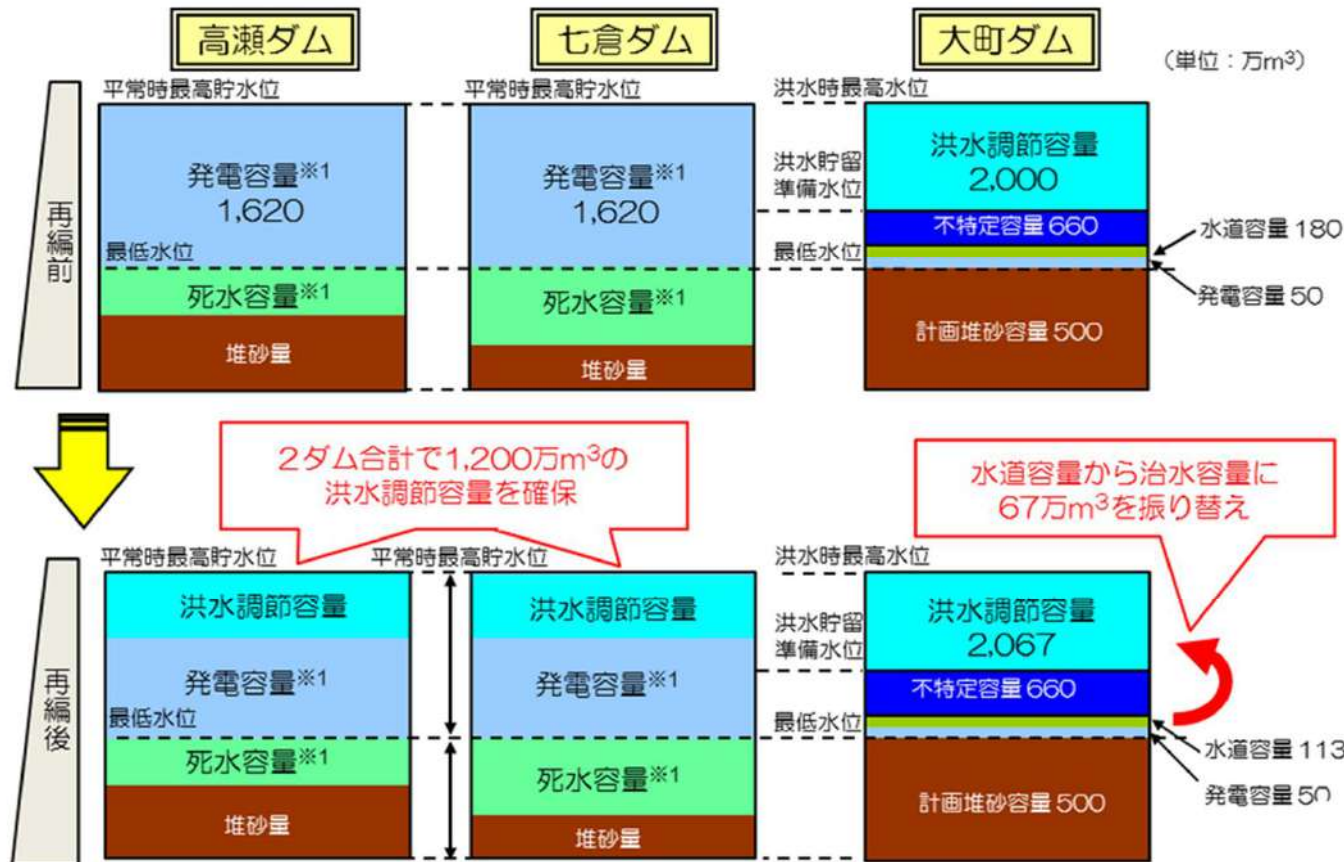


### ■ 既存施設を活用した洪水被害軽減対策

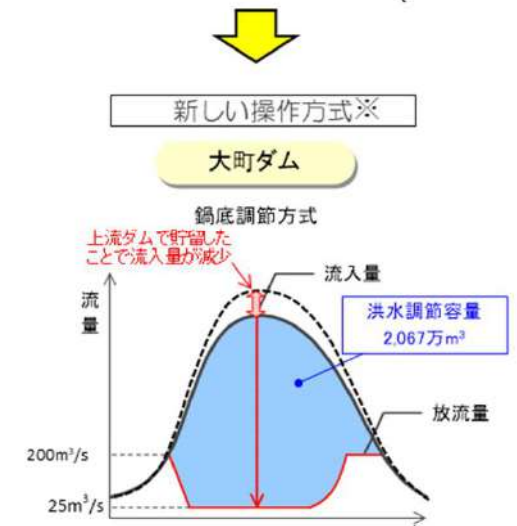
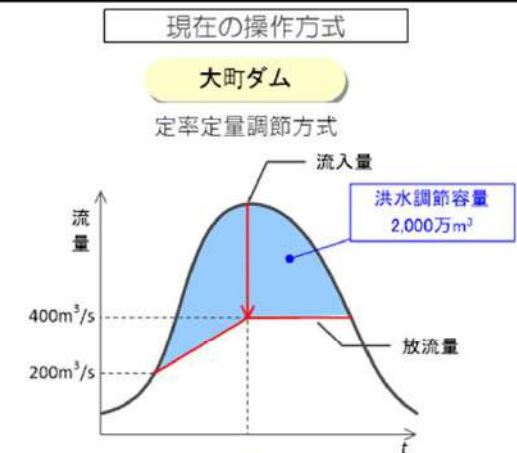
- 高瀬ダム、七倉ダムの発電容量のうち1,200万 $m^3$ 、大町ダムの水道容量のうち67万 $m^3$ を洪水調節容量に振り替え、新たに1,267万 $m^3$ の洪水調節容量を確保します。これにより3ダム合わせ3,267万 $m^3$ (25mプール約54,500杯分)の洪水調節容量が確保されます。
- 令和7年8月から、大町ダムの操作方式(定率定量調節方式)を鍋底調節方式(バケットカット)へと変更し、3ダムが連携した洪水調節の運用を開始しました。

注) 高瀬ダム、七倉ダム、大町ダムにおける洪水吐施設の改良等はありません。

### 大町ダム等再編事業 容量再編イメージ図



※1: 将来の堆砂を許容 ※2: 図の堆砂量は再編直後のイメージ



※今後の詳細検討で変わる可能性があります。

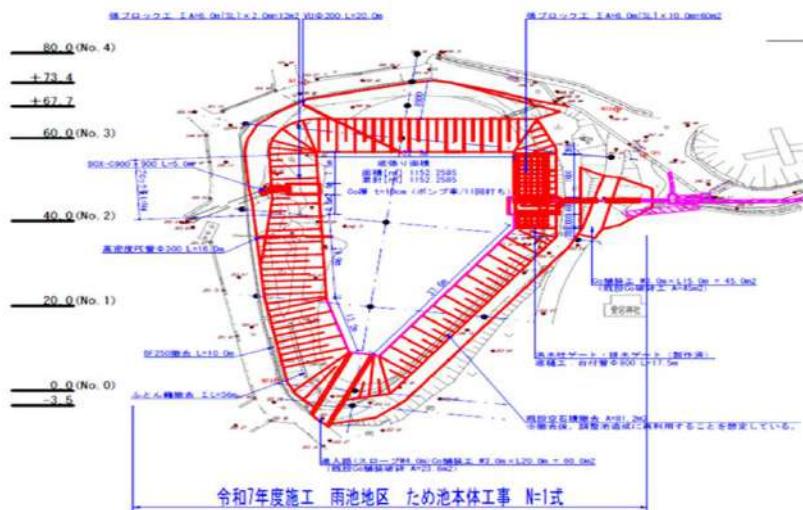
### ■ 支流の流出抑制の取組

### ・ため池等既存施設の有効利用

＜雨池洪水調節機能強化事業＞

強度の降雨時における千曲川への急激な流入を抑え内水氾濫の発生を防ぐべく、洪水調節機能の強化を目的に廃止予定の溜池施設を活用した治水事業

工事概要



状況写真



施行前写真



### ■ 支流の流出抑制の取組 (公園、校庭等の雨水貯留施設の整備ほか)

- ・ 県有施設に雨水貯留タンクを設置。(令和7年度は72基を設置見込み)
- ・ 県有施設である県立高校や道の駅の駐車場等へ雨水貯留浸透施設を整備。  
令和7年度は地下貯留7箇所と透水性舗装4箇所、校庭貯留1箇所、緑化舗装1箇所を実施。



これは『雨水貯留タンク』です！

大雨が降って川や水路に雨水がどんどん流れこむと、あふれてしまうおそれがあります。

『雨水貯留タンク』は、屋根に降った雨水を貯めることができます。

一つは小さいタンクですが、みんなで協力すれば、たくさん水を貯めることができ、川や水路に流れ込む水を減らすことができます。

ぜひご家庭でも、タンク設置にご協力をお願いします！

治水ONE NAGANO宣言  
～みんなできるとびっぴり～

長野県 河川課

県有施設における雨水貯留タンクの設置  
(長野県庁屋上)



県有施設における雨水貯留浸透施設の設置  
(長野県上田千曲高校 地下貯留)

### ■ 農業用ため池を活用した雨水貯留の取組

- ・市町村やため池管理者に向け、研修会(県内4会場(WEB併用)149名出席)を開催し意見交換。
- ・雨水貯留に係るICT機器通信費及びかかり増し経費(人件費・交通費等)を助成。

取組実績: 県内437か所、空き容量約550万 $m^3$   
(うち信濃川流域取組 379か所、空き容量約520万 $m^3$ )



市町村・ため池管理者等説明会



⇐ かかり増し  
経費助成

ICT機器  
通信費助成⇒



ため池雨水貯留支援事業により取組に係る経費を支援  
(10市町村 61池)

### ■ 水田を活用した雨水貯留の取組

・「田んぼダムの取組み」の実証を継続

取組実績: 県内5市村 約4haで実証を継続中  
(令和7年度における新規の取組みはなし)

#### 駒ヶ根市 (スマート田んぼダム)

(令和6年度～)

- ・既存排水柵を加工して機能分離型の排水柵に改良したほか、水位感知による自動排水柵を設置し、効果を検証。



既存柵を改良



自動排水装置

#### 生坂村 (実証による取組の啓発)

(令和6年度～)

- ・機能分離型等の排水柵を設置し、水位センサーを用いて効果を検証。実証ほ場の展示により取組を啓発中



機能分離型



職員直営で柵板加工

上記のほか、長野市、千曲市、伊那市でも実証を継続中

## ■流域治水の取り組みについて

林務部は森林造成事業・治山事業で以下のような取り組みを行っています。

### ○森林整備

・過密化し保水機能の低下した荒廃森林で森林整備を実施

### ○荒廃地の復旧

・豪雨等で発生した崩壊地の山腹工事、土石流で荒廃した溪流の谷止工等の設置など、荒廃地の復旧を実施

### ○流木対策

・過密化森林の間伐や森林整備に合わせた簡易治山施設の設置、流木発生時の流木捕捉工の設置など、発生源から上中流域までの総合的な流木対策を実施

### ○荒廃危険箇所の調査

・詳細な微地形図(CS立体図等)・航空写真(オルソ画像)から荒廃の恐れのある箇所を調査

・人工衛星を用いた干渉SARにより山間地の地盤変動を定期的・広域的に監視し、大規模山腹崩壊や地すべりの発生の兆候を事前に把握

### ○森林整備と流木対策



間伐に合わせて伐倒木を横木として伏せる簡易治山施設工の設置により表土の侵食を防ぐ

### ○荒廃地の復旧

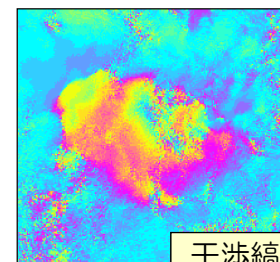
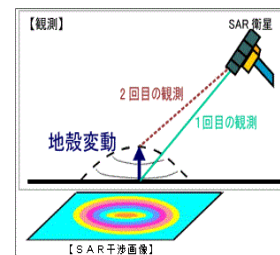


台風、豪雨等により荒廃した溪流には谷止工等の施設を設置

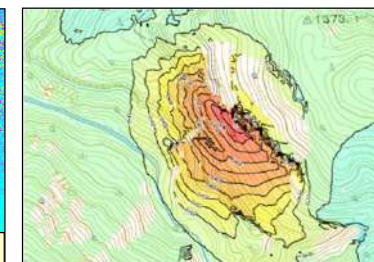
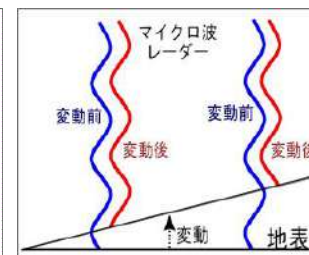


保安林において沢を塞ぐように倒れた枯損木等の危険木、劣勢木を事前伐採・撤去して流木災害を未然に防ぐ

### ○荒廃危険箇所の調査



### 干渉SAR



一級河川上流域等において土砂流出防止機能や保水機能の向上を図るため、過密化し保水機能の低下した荒廃森林で森林整備を実施。また、治山事業で荒廃溪流に谷止工・流木捕捉工等の治山施設を設置して土砂流出防止機能の回復、流木の流出防止を図る。

## 森林整備



林内に倒木や表土流出の目立つ過密化した森林では森林機能が低下している。間伐により適度な密度が保たれ、幹の肥大成長や根系の発達が期待できる。

## 荒廃地の復旧



荒廃した溪流内に堆積した不安定土砂の流出を防ぐため、谷止工を設置し土砂流出防止機能の回復を図る。

## 流木対策



発生源～上中流域からの倒木・流木の流出対策として、既存治山施設を利用して流木捕捉工を設置。下流域へ流出する流木を捕捉し、被害の軽減を図る。

○各地の国有林において、森林の有する水源涵養機能や土砂流出・崩壊防止機能の向上を図るため、森林整備(植栽・下刈・除伐・間伐など)及び治山対策(溪間工・山腹工など)を実施した。

【実施機関:北信森林管理署、中信森林管理署、東信森林管理署】

### 北信森林管理署

木島平村往郷 往郷山国有林  
【下刈作業】



### 中信森林管理署

大町市平 鹿島山国有林  
【水制工】



### 東信森林管理署

上田市真田町長 角間山国有林  
【山腹工】



### 水源林造成事業により奥地水源地域の民有保安林内で森林の造成や整備を実施



#### 千曲川・犀川流域内での事業実績

・下刈	15ha
・除伐	13ha
・枝払	14ha
・保育間伐	10ha



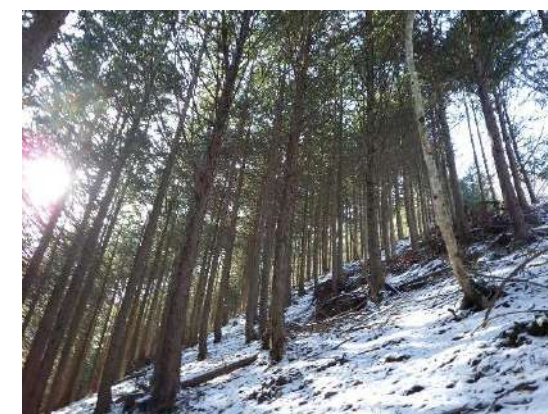
令和6年植栽の下刈事業地(坂城町)



令和6年植栽の下刈事業地(安曇野市)



平成5年植栽の保育間伐事業地(大町市)



平成11年植栽の枝払事業地(上田市)

#### <事業の目的>

水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、分収造林契約方式により造林地所有者が土地を提供し、造林者が植栽、植栽木の保育及び造林地の管理を行い、森林整備センターが費用の負担と技術指導等を行うことで、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。

#### <事業の内容>

水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化によりピーク流出量の発生時間を遅らせる等、流域治水を強化促進します。

### ● 土砂・洪水氾濫への対策に関する取組

栄村を流れる信濃川支川の中津川において、土砂・洪水氾濫による被害を防止するため砂防堰堤等を整備中。

### ● 流木や土砂の影響への対策に関する取組

栄村を流れる信濃川支川の中津川流域において、土砂・流木の流出による被害を防止するための土石流対策施設や流木対策施設等の砂防施設を整備中。



中津川において整備中の「中津川上流第1号砂防堰堤」  
(栄村上野原地先)

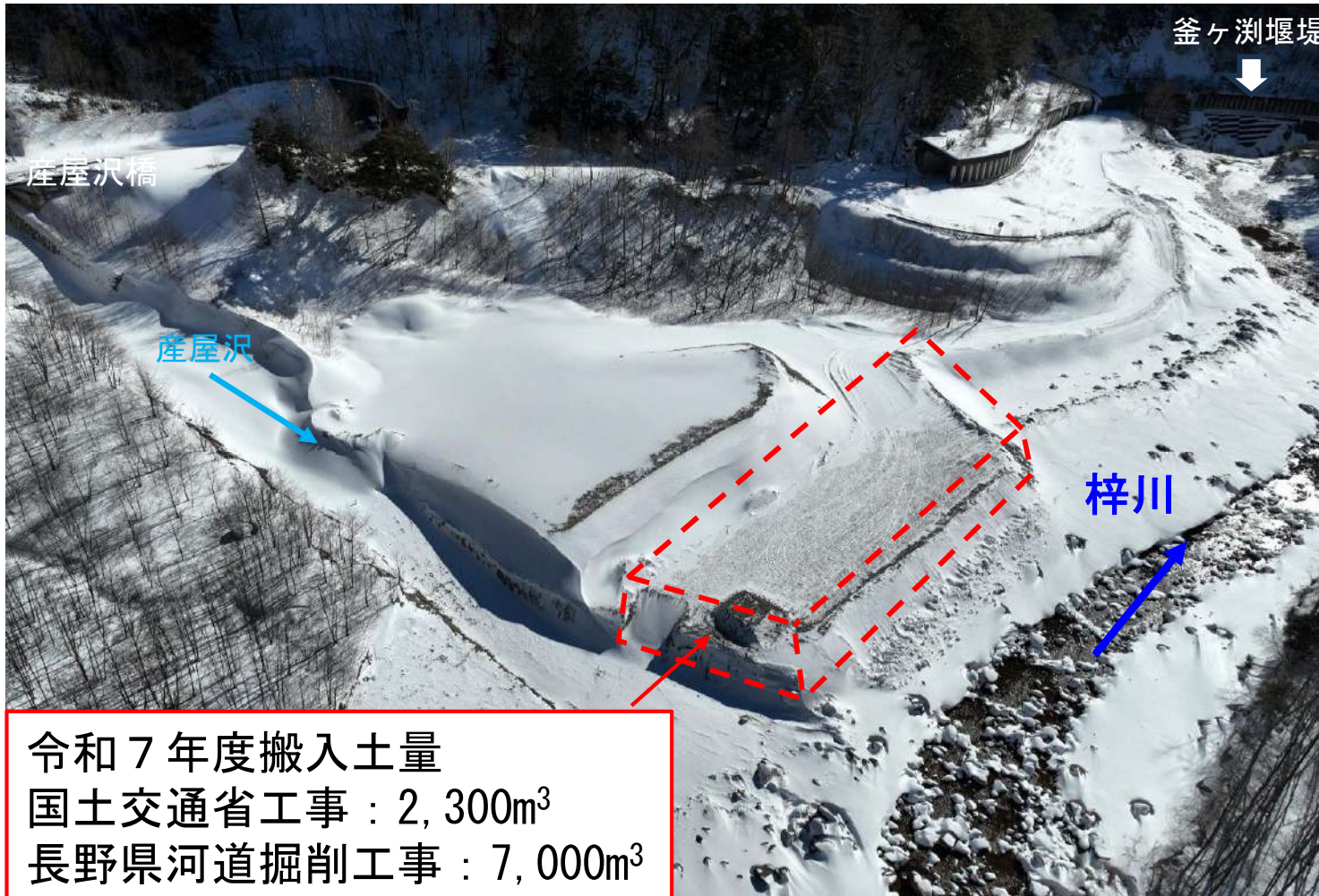
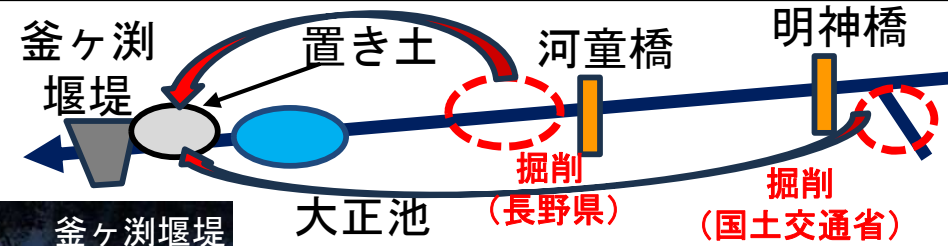


土石流危険溪流である中津川支川小赤沢川において補強工事が完成した「小赤沢第22号砂防堰堤」(栄村小赤沢地先)

### ■ 流木や土砂の影響への対策

□松本市上高地において、河床上昇緩和対策のため、土砂の掘削及び掘削土砂を自然に任せて下流へ流すことを試行的に実施している。

令和7年度は釜ヶ淵堰堤上流に置き土9,300m<sup>3</sup>を実施  
(令和12年度までに毎年1万m<sup>3</sup>程度の置き土を予定)



令和7年度搬入土量  
国土交通省工事：2,300m<sup>3</sup>  
長野県河道掘削工事：7,000m<sup>3</sup>



←令和8年1月9日撮影



### ■ 土砂・洪水氾濫への対策

□ 土砂・洪水氾濫により被災する危険性が高い箇所において、人命への著しい被害を防止する砂防堰堤等を整備



障子川瀬沢砂防堰堤改築



箆川第1号下流砂防堰堤



梓川流域において、下流域への土砂・洪水氾濫被害の事前防災として障子川瀬沢砂防堰堤の改築を推進。

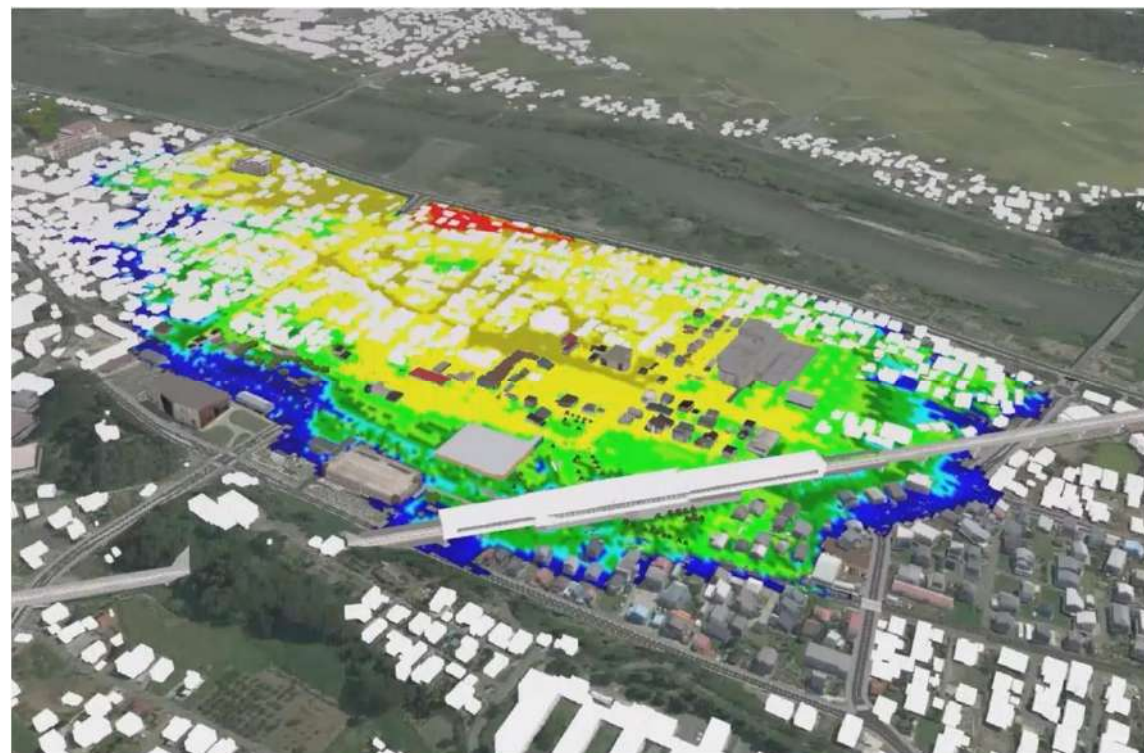
高瀬川流域の箆川において、下流域への土砂・洪水氾濫被害の事前防災として箆川第1号下流砂防堰堤の新規整備を推進。

## ■ 2. 被害対象を減少させるための対策

### ■ 都市計画マスタープランや立地適正化計画による水害に強い地域への誘導

・市民の防災意識を高めるためデジタルマップ3Dモデルを作成し、浸水ナビ情報に基づく浸水シミュレーションや浸水ハザード情報をリアルな形で見える化した。

【事業主体：飯山市、 データ協力：国土交通省千曲川河川事務所、長野県 】



浸水ナビ解析データを基に破堤点からの浸水の広がりや時間的変化を3Dでリアルに表現し、ハザードマップを確認するきっかけと防災意識向上を図るためのツールとして作成。

### ■ 3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

### ■ 防災教育や防災知識の普及に関する取組

・治水への意識高揚 ・身近な浸水被害解消 ・「流域治水」の推進

【参加者：市内の河川に係る同盟会等の団体、信州大学、長野高専、千曲川河川事務所、長野県、長野市】

#### ○「ながの治水対策研究会」開催の概要

- 1 開催日時 令和8年2月13日(金) 午後2時～午後4時
- 2 会場 長野市役所 第二庁舎10階 講堂
- 3 プログラム 開会あいさつ 長野市長 荻原 健司  
・講演  
長野県立歴史館 特別館長 笹本 正治 氏 「長野県の水害と伝承」  
・話題提供  
国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所  
長野県 建設部 河川課  
・調査・研究成果の報告  
信州大学工学部 水環境・土木工学科 教授 吉谷 純一 氏  
長野工業高等専門学校 環境都市工学科 5年生 1名  
電子情報工学科 5年生 1名



#### ～令和7年度 講演、調査・研究テーマの成果報告～

##### 【調査・研究の成果報告】

調査・研究は市内をフィールドに試行的に実施

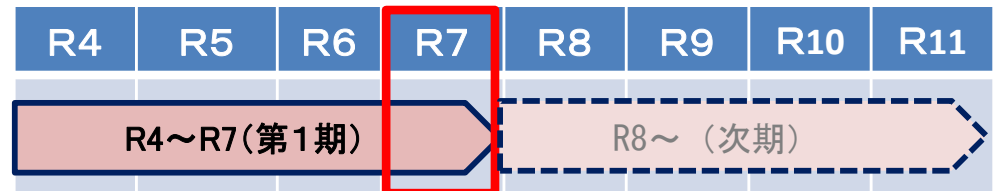
- 信州大学  
「レーダを用いたゲリラ豪雨の予測」  
・信大キャンパス内に小型気象レーダを設置し、局地的大雨の内部構造(水平、鉛直)を観測
- 長野工業高等専門学校  
「地域の水路を見守る新しい水位監視システムについて」  
・市内水路(7箇所)における降雨時の雨量及び水位データ取得と水門操作時の水位低減効果検証

##### 【研究の進め方】

効果確認・改善等により、調査・研究を深化  
→ 実装に向けた検証

#### ○研究会の進め方

- ・令和7年度 研究成果報告(第4回)
- ・令和8年度以降 第2期 調査・研究へ



### ■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

・自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の**共同点検**の実施

【参加者：松本市消防防災課、松本市対象地域づくりセンター、松本市消防団、沿川自治会長、千曲川河川事務所、松本広域消防局】

河川管理者・自治体・地域住民との共同点検を実施



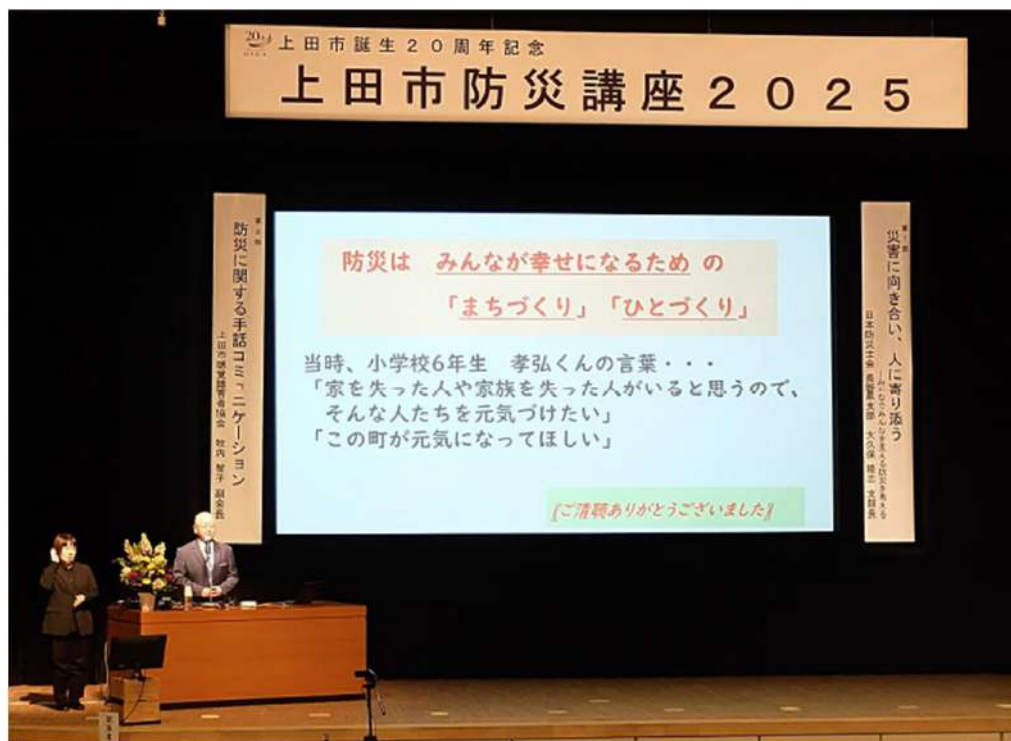
令和7年5月28日(水) 共同点検実施状況(松本市梓川)

### ■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

・令和6年能登半島地震の教訓を踏まえ、「健常者」「要配慮者」など区切るのではなく、地域全体で互いに支え合う仕組みづくりを再考し、「情報保障」についても理解を深めるため、防災に関する手話コミュニケーションも学べる「上田市防災講座」を実施

【参加者：市民等（自治会及び自主防災組織、消防団、防災連携機関、定住自立圏構成市町村ほか）】

二人の講師による防災講演会及び防災資器材やボランティア写真等展示を実施



令和7年12月20日(土) 上田市防災講座2025開催状況)

### ■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

・自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所での共同点検の実施

【参加者：須坂市消防本部、須坂市水防団、須坂市、須坂警察署、須坂建設事務所、沿川自治会、千曲川河川事務所】

### 河川管理者・自治体・地域住民との共同説明会を実施



令和7年5月27日(火) 市内重要水防箇所現地調査 実施状況 (須坂市北相之島町堤防(左)、須坂市中島町堤防(右))

### ■ 豪雨に対応したタイムラインの普及促進に関する取組

・関係者が一体となったタイムラインの整備(今年度中島町と福島町で作成、千曲川沿川5町のコミュニティタイムラインが完成)

【参加者:須坂市、須坂市水防団、自治会、須坂建設事務所】

### 自治体・地域住民とのコミュニティタイムライン作成



令和7年9月27日(土) 福島町コミュニティタイムライン第1回WSにおいて気象情報取得の説明を受ける  
(福島町公会堂)



令和7年10月26日(日) 中島町コミュニティタイムライン第2回WSにおいてグループごとに検討中  
(中島町公会堂)

### ■ パネル展、イベント、水害リスク情報の周知やSNS等を活用した発信

・消防団主催イベント内「AR災害体験」ブースにて、来場の市民に向けてAR機器を活用した仮想浸水体験を実施。

【実施者：市職員、市消防団】



令和7年11月2日(日) 消防フェスタ2025おおまち内「AR災害体験」ブース

- ☞ AR機器（ゴーグル型、タブレット型）は長野県危機管理部危機管理防災課様より借受。
- ☞ 今年度からプロジェクターを併用し同伴者も視聴できるよう工夫した。
- ☞ 同イベントには約1,500人の来場者が訪れ、上記含め様々な防災関連ブースに立ち寄っていただき、防災意識の啓発につなげることができた。

## ■ 関係機関が連携した排水実働訓練の実施

【参加者：千曲川河川事務所、長野県、飯山市、地元住民関係者】

関係する区民と行政の協働による排水ポンプ車の運転訓練を実施



令和7年6月5日(木) 排水ポンプ車稼働演習実施状況(今井川遊水池)

### ■防災教育や防災知識の普及に関する取組

◇地域住民や小中学生等を対象にした防災教育の推進

- ・出前講座等による防災教育の実施

【参加者：小学校児童、地域住民、社会福祉協議会ほか】



【令和7年7月31日・埴生小学校】  
【令和7年10月7日・上山田小学校】

○市内小学生を対象に、水害時の事前準備の説明や避難所設営体験を交えた、出前講座を実施（2回、約100人）

【令和8年1月25日  
・千曲万博防災ブース】

○ARによる水害体験・洪水ハザードマップ等のパネル展示



【地域住民への出前講座等】

○市内11地区への防災教育等（12回、約490人）

- ハザードマップ策定
- ハザードマップの住民への周知



## 避難行動

### +

#### 浸水被害から避難する時のポイント

#### 明るいうち、浸水する前に備前で避難

子どもや高齢者と一緒にの場合、移動に時間がかかります。地震や津波が起きて明るいうちに浸水する前に2人以上で避難をしましょう。

#### 動きやすい服装で

けがを防ぐため長袖・長ズボンで、履物は水が入ると動きにくくなるためスニーカーを履き、両手が使えるようにリュックサックに必要最低限のものを入れて、荷を守るためにヘルメットを着用し避難をしましょう。

#### 車での避難は危険

車での避難は安全なうちに、浸水したら徒歩で避難しましょう。10cmでブレーキが効かなくなり、30cmでマフラーの高さでエンジンが止まり、50cm(タイヤの高さ)で車体が浮いて流れます。水深が深くても水流があると簡単に流されます。

#### やむを得ず冠水した後に避難する場合

冠水した水は濁っています。排水路や雨溝との境界がわからずに転倒して流されたら、マンホールの蓋が閉まっていると足がつかず危険があります。傘や履物で冠水を避けましょう。

#### 川や用水路を見に行かない

大雨の間に、川や用水路の様子を見に行ったことで流されて被害に遭う危険があります。

#### 油断せず慎重に

洪水の深さが50cm(大人の膝くらい)を超えると冠水の影響で、大人の男でも歩くのが難しくなります。流れがある場合は、より強い場所でも離れずに足をとられて転倒し、流されてしまいます。

## 障がいのある方の対応

### +

#### 障がい別の対応等

	視覚の障がい	身体障がい
目の不自由な方	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害情報等すぐに入手するために、安曇野市メール配信サービスや安曇野市公式LINEの登録をおこなってください。</li> <li>音声、点字、拡大文字など、避難場所、避難所への経路を確認してお知らせをお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>盲杖(杖でも感知されやすいように白杖には高反響テープを貼っておきましょう)</li> <li>誘導員サービス</li> <li>点字</li> <li>防犯(音声、感知など)についておきましょう。</li> <li>避難場所、避難所へは、ドッグフードや水の用意を事前にしておきましょう。</li> </ul>
耳の不自由な方	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害情報等すぐに入手するために、安曇野市メール配信サービスや安曇野市公式LINEの登録をおこなってください。</li> <li>どこでも聴取ができるよう、簡化形録音やメモ機能を利用してください。</li> <li>旗、ブザーなどを発音機にしておきましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聴覚補助器具と(インナー)イヤホン</li> <li>旗(ホイッスル)</li> <li>簡易電話</li> <li>「耳マーク」など視覚障害者とはかるもの</li> </ul>
肢体の不自由な方	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害は、なるべく落下物や倒れてくる家具などが少ない安全な空間を確保しましょう。</li> <li>車いすの傾斜を調整しておきましょう。</li> <li>車いすや杖など、安全な場所に置いて避難を助けてもらうようにあらかじめお話ししておきましょう。</li> <li>電線、電柱などの子割のバッチリ、充電機器を非常用電源にしておきましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手摺り、手すり、杖</li> <li>車いすのバッテリー</li> <li>充電機</li> <li>杖</li> <li>浴衣の杖</li> <li>子割の杖</li> </ul>
知的障害・精神障害のある方	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害や避難などの備えや避難経路の知識について、わかりやすい言葉や図解にしておきましょう。</li> <li>避難場所が決まらないうちに、避難場所や避難所などの避難先を確保しておきましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時に支援を受けられる医療機関や医療機器メーカーなどの連絡先リストを用意しておきましょう。</li> <li>避難所や避難所、特設施設、医療機関については、それぞれかかりつけ医や薬剤師などの連絡先を、具体的な避難所の対応を確認しておきましょう。</li> </ul>
高齢者の方	<ul style="list-style-type: none"> <li>身元や連絡先が確認できる名刺、手帳や財布などを身につけておきましょう。</li> <li>かたわりの足や腰や膝など、避難先に行く場合の負担を軽減しおこなってください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新の薬の見方説明書または投薬指導票、お薬手帳など</li> <li>避難所まで持ち運ぶために持っているもの(いづれに持っているお薬を入りのもの)</li> <li>アイマスク</li> </ul>
精神障害のある方	<ul style="list-style-type: none"> <li>合併症があったり、被災のストレスで病状の悪化が心配な方は、その対応を確認しておきましょう。</li> <li>避難先が決まらないうちに、避難先に行く場合の負担を軽減しおこなってください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新の薬の見方説明書または投薬指導票、お薬手帳など</li> <li>避難所まで持ち運ぶために持っているもの(いづれに持っているお薬を入りのもの)</li> <li>アイマスク</li> </ul>
聴覚障がいの方	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難先が決まらないうちに、避難先に行く場合の負担を軽減しおこなってください。</li> <li>避難先が決まらないうちに、避難先に行く場合の負担を軽減しおこなってください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新の薬の見方説明書または投薬指導票、お薬手帳など</li> <li>避難所まで持ち運ぶために持っているもの(いづれに持っているお薬を入りのもの)</li> <li>アイマスク</li> </ul>

これまで掲載していた6河川に加え、新たに13中小河川の浸水想定区域を追加して防災マップを作成。マップ見直しにあたり、避難行動の時のポイントや障がいのある方の対応を追加し、全戸配布を行うことで市民への周知を図った。

また、出前講座で防災マップ活用のメニューを取り入れ、住民への防災意識向上を図っている。

### ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組(写真左)

・ 県職員を講師に常備消防、松川村消防団、池田町消防団合同による**水防訓練**を実施

### ■ 支川、水路における氾濫抑制対策(写真右)

・ 大町建設事務所、常備消防、町が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の**共同点検**の実施



令和7年5月10日(土) 南部消防連絡協議会水防訓練



令和7年5月20日(火) 高瀬川左岸共同点検実施状況

■ 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進  
・避難確保計画の作成と訓練の推進及びハザードマップにおける災害リスク説明会の開催

【参加者：松川村内の要配慮者施設管理者】

■ 防災教育や防災知識の普及に関する取組

・ハザードマップの改良、土砂災害のおそれがある場所の周知、自主避難計画の作成と避難マップに基づく避難訓練の実施

【参加者：土砂災害警戒区域住民・大町建設事務所・松川村】

施設管理者へハザードマップ上の災害リスクと水防法等の説明会を開催

土砂災害警戒区域住民による避難訓練と赤牛先生の防災講習会を開催



令和7年5月23日(金) 説明会の開催状況(松川村役場2階講堂)



令和7年11月30日(日) 避難訓練と防災講習会の開催状況

### ■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

・自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所での共同点検の実施

【参加者：坂城町、坂城町消防団、沿川自治会、千曲川河川事務所】

## 河川管理者・自治体・地域住民との共同点検を実施



令和7年5月23日(金)

千曲川重要水防箇所合同巡視

### ■ 避難訓練への地域住民の参加促進

### ■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

- ・全村民を対象とした防災訓練（避難訓練・各地区災害対策本部設置訓練等）の実施。
- ・長野県砂防ボランティア協会から講師を招き、土砂災害時の行動について講演。土砂災害模型やVR体験により普及啓発。

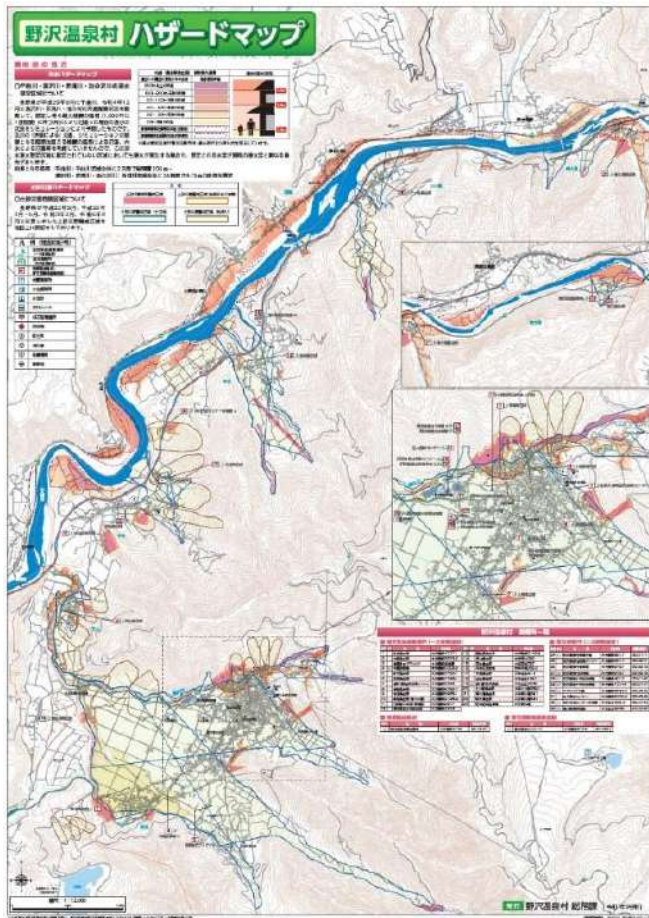
【参加者：木島平村、木島平村消防団、自治会、地域住民】



令和7年10月5日(日)

土砂災害模型・VR体験(左)  
土砂災害に係る講演会(右)

- 支川の氾濫に着目したハザードマップ等を作成し、リスク情報を周知
- ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実
- ・ハザードマップの住民への周知【各戸配布数:973世帯、その他、地域包括支援センターや観光施設へ配布】
- ・村ホームページにWeb版ハザードマップを公開。



令和6年度末に村防災ハザードマップが更新となった。村民への周知として、令和7年5月に各戸配布を実施。この他、地域包括支援センターや観光施設等にも配布し周知を図った。また、ハザードマップ更新に合わせ、WEB版ハザードマップを構築し、村ホームページ上で公開を行う。海外の方が多く来村されていることから多言語(英語)版のハザードマップを整備し周知を行う。

### ■ 防災教育や防災知識の普及に関する取組

- 消防団・消防署・防災関係機関等が連携した防災訓練を開催
- ・ 防災講習会を実施し、防災意識の向上と災害応急対策等を学習。



令和8年8月31日(土) 栄村防災訓練実施状況

### ■ 防災教育や防災知識の普及に関する取組

・パネル展、イベント、水害リスク情報の周知やSNS等を活用した発信

【参加機関：信州大学、長野県、千曲川河川事務所、松本砂防事務所、土木研究所、予報士会長野支部等16機関 来場者246名】

### おてんき・ぼうさい教室を開催



千曲川河川事務所：地震体験



松本砂防事務所：降雨体験



はれるんとアルクマ



長野地方気象台：竜巻発生装置



信大・土木研究所：VRで洪水体験



長野県：ARで浸水体験

### ■小中学生や下流自治体職員等を対象にした防災・減災意識向上の推進

- ・小中学校等の社会見学、職業体験を通して、ダムの役割や日常管理の様子等を学ぶ機会の提供
- ・下流自治体の視察受け入れ、洪水調節操作方式の変更について理解を得る機会の提供

【令和7年度実績 小学生:100名、中学生:18名、自治体職員等:79名】



令和7年7月9日(水)職業体験 大町中学校:2名

令和7年9月2日(火)~3日(水)社会科見学 松川小学校:2日間計70名

令和7年10月6日(月)総合学習 大町中学校:4名

令和7年11月20日(木)視察 長野県建設技術協会:59名

令和7年8月26日(火)社会科見学 大町南小学校:30名

令和7年9月19日(金)社会科見学 波田中学校:10名

令和7年11月7日(金)視察 長野県河川課:20名

### ■防災教育や防災知識の普及に関する取組(1/2)

- ・学校が実施する防災教育に講師を派遣。地域の水害リスクを知ることで、防災意識の向上を図る。
- ・今後も学校等からの要望に応じ、支援を実施していく

#### 全4校を対象に防災授業を実施

- 令和7年 6月24日:長野市立山王小学校
  - 令和7年 9月12日:長野市立共和小学校、
  - 令和7年11月19日:飯山市立木島小学校
  - 令和7年12月16日:中野市立高社小学校
- また、信州大学や信濃毎日新聞などによる「長野SDGs地域防災プロジェクト」に参加し、令和7年7月9日に中野市立高社中学校で防災授業を実施

- ・水害の歴史や出水をもたらす気象特性、平時からの備え等について学習
- ・水害への備えとしてマイ・タイムラインを作成するツールとして「逃げキッド」を紹介
- ・流域治水の促進を目的としたカードゲーム教材の実施



水害リスク、マイタイムラインについて説明(共和小学校)



マイタイムラインについて説明(高社中学校)

### ■防災教育や防災知識の普及に関する取組(2/2)

「気をつけ妖怪・災害の攻撃」と「防災による防御」を通じて、防災を学ぶカードゲーム教材を発案。参加型の学習により、楽しく防災や災害について知ってもらおう機会となることを目的としている。

令和7年度に実施した防災授業および防災イベントにて活用し、授業後のアンケートでは、半数以上の児童から、印象に残った教材として評価を受けた。

また、学校からは、休み時間に繰り返しカードゲームで遊ぶ児童や、マイタイムラインを作成した児童がいたことが報告された。

引き続きこれらの取組を継続し、流域治水の「自分事化」を促す教材としてさらなる普及を図る。



「気をつけ妖怪カード」(抜粋)



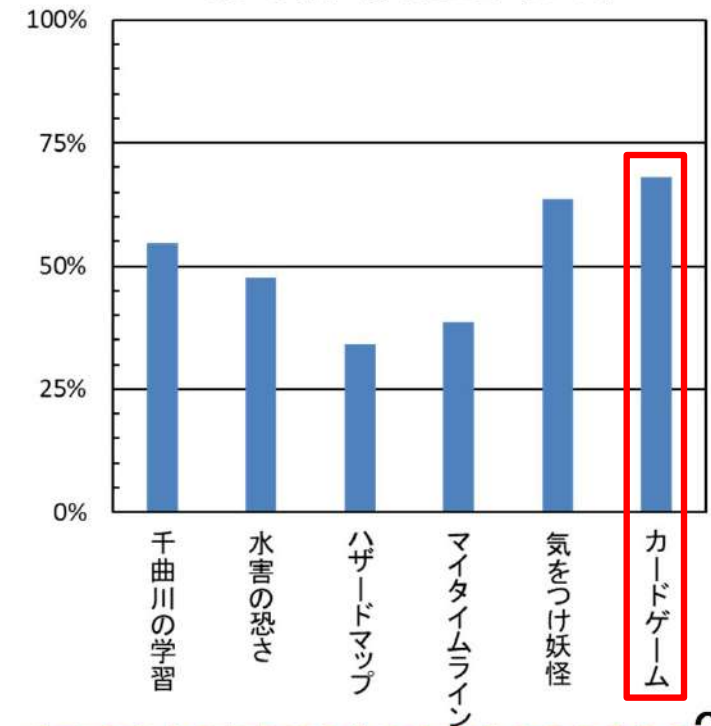
「災害カード」(抜粋)

「防災カード」(抜粋)



カードゲーム実施状況  
(上:木島小学校 下:高社小学校)

Q1 印象に残ったこと (N=44)



### ■豪雨に対応したタイムラインの普及促進

・「流域タイムライン」「自治体タイムライン」「コミュニティタイムライン」「マイ・タイムライン」それぞれのタイムラインを一体的に普及促進し、ソフト対策の充実を流域全体で推し進める。

千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムラインの構成機関



○年度初めの流域タイムライン説明会を開催  
これまで出水期前に行っていた「流域TL説明会」を、人事異動後でも的確に対応できるよう4月25日に開催。



### 流域タイムラインの特徴

#### 01 流域警戒ステージ

■水位が上昇する前の早期段階から防災行動

流域警戒ステージ	警戒レベル	情報	タイムラインの防災行動
流域警戒ステージ1 (緊急の観測5~3日前)	1	【府県】気象情報等の今後の見込み 【市町村】災害対策本部 【関係機関】気象庁	災害の危険性に注意を向け 【気象】早期注意情報 【管轄】警戒水位の発表
流域警戒ステージ2 (緊急の観測1日前)	2	【気象】注意情報 【水防】警戒注意情報	【管轄】警戒水位の発表 【気象】注意情報 【水防】警戒注意情報
流域警戒ステージ3 (緊急の観測1時間前)	3(相当)	【気象】警報 【水防】警戒注意情報	避難準備・避難指示 【水防】警戒注意情報
流域警戒ステージ4 (緊急の観測10分前)	4(相当)	【気象】特別警報 【水防】警戒注意情報	避難の強化 【水防】警戒注意情報
流域警戒ステージ5 (緊急の観測5分前)	5(相当)	【気象】特別警報 【水防】警戒注意情報	緊急安全確保

#### 02 運用会議

■93機関が集まり、流域の危機感を共有



#### 03 情報共有プラットフォーム等

■防災行動の見える化



#### 04 機関別タイムラインへの展開

■機関別のタイムラインと連携



○全機関を対象に流域タイムライン演習の実施  
R7から洪水対応演習と併せて「流域TL演習」を実施。  
93機関と出水期前に運用の実効性確保に努めた。



### ■ マスメディアとの連携強化

- ・テレビ取材を通じて、広く防災情報等について周知
- ・防災・減災に向けた取組・事業の紹介

### 報道機関等への情報提供及び連携

- 防災情報の入手の仕方について解説。
- 出水期前に日頃の備えを周知。
- 防災・減災に向けた取組・事業の紹介。



防災情報について解説



出水期前に日頃の備えを周知



防災・減災に向けた取組の紹介

### ■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組

- ・「重要水防箇所の確認」「水防倉庫の現地把握と資材状況の確認」「量水標による水位等状況把握方法の確認」を地元消防団や地域の区長とともに実施

#### 千曲川・犀川 重要水防箇所等合同巡視

- ・令和7年5月20日(火)上田市での合同巡視をスタートに、11市町村12回の合同巡視を実施し、計387名参加。
- ・地元への危険箇所の認識共有及び、水防団への水防活動における資材、重要水防箇所の認識共有を図る。



合同巡視の実施状況(生坂村)



水防団及び自治体と重要水防箇所の確認(長野市)